

適切な路網の整備

森林の整備・保全を適切に実施するとともに、林業の生産性向上を図るためには、路網と高性能林業機械等を組み合わせた効率的な作業システムの構築が不可欠です。

路網については「林道」、「林業専用道」及び「森林作業道」に大別し、それぞれの役割等に応じて適切に組み合わせた路網の整備を推進しています。



また、降雨の多い日本において、丈夫な道づくりを行うため、地山に沿うように波形線形で計画し、雨水が集中して路面を流れないようにすることが必要です。

盛土は地山に段切りを行い、層ごとにしっかりと転圧を行うことで強く固めるとともに切土や盛土法面は高さを極力低く抑え、災害に強く森林へのアクセス機能を向上させることを目指します。

